

## 第10回議会運営委員会会議録

- 1 開会日時 平成29年10月30日（月）午前10時0分
- 2 閉会日時 平成29年10月30日（月）午前10時37分
- 3 会議場所 議会委員会室
- 4 出席委員  
3番 佐藤 武君      4番 佐々木雄司君      8番 治徳 義明君  
9番 原田 素代君      12番 北川 勝義君      13番 福木 京子君  
16番 下山 哲司君      18番 金谷 文則君
- 5 欠席委員  
な し
- 6 説明のために出席した者  
市 長 友實 武則君      副 市 長 倉迫 明君  
教 育 長 内田 恵子君      総合政策部長 作間 正浩君  
総 務 部 長 前田 正之君      教 育 次 長 藤井 和彦君  
総 務 課 長 原田 光治君
- 7 事務局職員出席者  
議会事務局長 奥田 吉男君      主 幹 黒田 未来君
- 8 協議事項 1) 平成29年11月行事予定について  
2) 平成29年12月定例会の会期日程（案）について  
3) その他
- 9 議事内容 別紙のとおり

午前10時0分 開会

○委員長（下山哲司君） 皆さん、おはようございます。

ただいまから平成29年第10回議会運営委員会を開会いたします。

開会に先立ち、議長より御挨拶をお願いいたします。

○議長（金谷文則君） 委員長。

○委員長（下山哲司君） 議長。

○議長（金谷文則君） 皆さん、おはようございます。

きょうは急遽といえますか、議運に合わせてこの次のこともあります。いろいろ変えていかなきゃいけないことがあったり諸問題があると思いますので、議会のほうとそれから執行部のほうとがコンタクトをしっかりとって前へ進めていけるように、この議運を通じて進めていただきたいと思いますので、どうぞよろしく願いをいたします。

○委員長（下山哲司君） ありがとうございます。

それでは、これから協議事項に入ります。

協議事項1番目、平成29年11月行事予定について。

議会事務局長。

濟いません、北川委員が歯医者で時間がおくれそうなので、ちょっとおくれるということでございますので報告しときます。

それでは、議会事務局。

○議会事務局長（奥田吉男君） 委員長。

○委員長（下山哲司君） 局長。

○議会事務局長（奥田吉男君） それでは、お手元の資料について御説明いたします。

平成29年11月議会行事予定（案）でございます。

主なものについて御説明をいたします。

まず、11月7日火曜日、14時50分から行政視察の受け入れでございます。浪江町の広報の編集委員の方々が視察に見えられます。

8日水曜日、19時から議会報告会、3会場で行います。

10日金曜日、10時から厚生常任委員会、同じく19時から議会報告会、2カ所で開催をいたします。

13日月曜日、10時から産業建設常任委員会。

それから、14日火曜日、9時30分から総務文教常任委員会、これは現地視察ということで9時30分からにいたしております。

20日月曜日、13時30分から議会運営委員会、14時30分から議会全員協議会。

24日金曜日、午前10時から議会基本条例特別委員会。

27日月曜日からが本会議、12月議会定例会の議案上程の予定で行事予定といたしております。

す。

以上です。

○委員長（下山哲司君） ありがとうございます。

はい、総合政策部長。

○総合政策部長（作間正浩君） おはようございます。

それでは、市の行事予定、主なものを御報告いたします。

1日水曜日ですが、15時から農業農村整備事業の地域推進会議、メルパルクOKAYAMAのほうで市長が参加いたします。

2日木曜日、13時から農業共済の関係の監事会及び定時中間監査ということで、これも岡山市の農業共済会館のほうに市長は出席いたします。

それから、5日日曜日ですが、9時から片鉄ロマン街道のふれあいサイクリング大会と、13時30分から赤磐市の子育て講演会が開催されます。いずれも副市長と市長が出席いたします。

7日火曜日ですが、13時30分からまちづくり・住まいづくりに関する市町村長との意見交換会ということで、広島市で開催されます。市長が出席いたします。

9日木曜日ですが、11時から幼年消防クラブの防火パレードということで、市役所玄関前で、市長、副市長の前でパレードをされます。

10日金曜日ですが、13時30分から地域医療ミーティング、赤坂健康管理センターで市長、副市長参加で開催されます。

それから、16日木曜日ですが、ちょっと曜日のところがおかしくなっていますが、これは木曜日でございます。15時から教育委員会の定例会、中央公民館で教育長が出席でございます。

それから、17日金曜日ですが、13時30分から民生委員児童委員協議会の研修会が桜が丘いきいき交流センターで開催されます。市長が出席されます。

19日ですが、10時から是里ワインフェスト、13時30分からAMD A・赤磐市防災国際フォーラムが開催されます。市長、副市長がドイツの森でワインフェスト、それから市長が桜が丘いきいき交流センターで出席いたします。

20日月曜日ですが、8時45分から赤磐市長杯市民グラウンド・ゴルフ大会が開催されます。これは、市長、教育長が出席いたします。

21日火曜日、11時から記者懇談会、市長出席でございます。

22日、13時30分から介護保険事業計画策定委員会が庁舎内で開催されます。これは副市長が出席いたします。

23日木曜日、12時からあかいわキラリ★安全フェスティバルということで、山陽ふれあい公園で三役が出席いたします。

主なものは以上でございます。

○委員長（下山哲司君） ありがとうございます。

ただいま説明がございました。

委員さんから質疑がございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（下山哲司君） なければ、次に進んでよろしいですか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（下山哲司君） それでは続いて、協議事項 2 番目、平成29年12月定例会の会期日程（案）について、議会事務局長、説明お願いいたします。

○議会事務局長（奥田吉男君） 委員長。

○委員長（下山哲司君） 事務局長。

○議会事務局長（奥田吉男君） それでは、お手元の資料について御説明いたします。

平成29年赤磐市議会スケジュール表、11月、12月（案）ということでお示しをしております。

以前にお示ししたものと日程に変更はございませんが、11月27日月曜日を本会議の上程日という日程にさせていただいて、12月18日月曜日を最終日という設定にさせていただいております。

この予定でまいりますと、11月20日月曜日が議運、全協という日程で組ませていただいております。

以上です。

○委員長（下山哲司君） ありがとうございます。

ただいま説明がございました。

会期日程（案）について、委員さんから何か質問はございませんか。

○委員（北川勝義君） ちょっといいですか。

○委員長（下山哲司君） はい、北川委員。

○委員（北川勝義君） 濟いませぬ。遅うなりまして。ちょっと体調が悪かったんで、医者へ行っとったんで。僕ら、電話してくれんから、電話さっきしとったんじゃけど、電話してくればええんじゃねえかと思うて。それはええんですけど。

27日に開催して18日で終わるということで、前回と変わりませんと言うたん。前回と変わらん説明じゃったらもうするな、せえじゃったら悪いけど。委員長、一応これ新しい議運をしょんじゃから、全部日程調整だけ言うてもらわにやあ、前回と変わらんから変わりましたとこだけという、そんな失礼な話じゃねえと思う。そういうやり方じゃったかな、今ちょっと確認を再度しょん。日程のことでどうこうはねんですけど、ちょっと聞きたかった。

せえからもう1点が、これはお願いしとんじゃけど、これはええか悪いかわからんじゃけど、市とかに、全部の行事予定で、同時の日に、きょう議運をして全協をするというのは、時

間をとってやられるのは、これはようわかるんで。これは、ものの案件によって違うと思います。それも、議運にしても4時間も5時間もかかる場合もあるし、案件によって。そのところは、それはもうわかってしていただきようと思うんじゃないけど。

できたら、この中の全部の、例えばでいうたら、日にちでいうたら19日です、簡単に。是里ワインフェストを10時からやられて、これは仁堀中でやられて、吉井町でやられて、1時半から赤磐市防災国際フォーラムで山陽の桜が丘いきいき交流センター、ネオポリスでやると。こういう時間をやっぱり、ということはどう12時半には出て行きようらにゃあ間に合わんということやろう、もしそれへ行くとしたら。ほったら、そりゃあもうやめて行けえということか。ワインフェストを11時半ぐらいになったらやめて行きなさいよというて、もうせっぱ詰まるというんかな、と思うんで、こういうことはできたら考慮してほしいなと思うて言うたんじゃけど、これはどういう意味でこういうことになっとなか。

簡単に言うたら、日にちがとれなんだんじゃとか言うてしもうたら済むんじゃけど、日にちがとれん、日にちがとれんというて、自分らのときには勝手に日にちがとれん、日にちがとれん、ちょっとおかしいんじゃねえかなと思うて、ちょっと言いたかったんで。そこんところ、もし説明できりゃあしてほしいというんが、11月5日やこうでも、例えばというたら、大会があるとかというたりするときに、赤磐市の片鉄ロマンのサイクリング大会があると。そしたら今度赤磐子育て講演会があるとか、一緒にこう。せえから、ふれあい消防フェスカ、もあると。ようけえ重なってきとるわけなんじゃ。じゃから、こんなんどねえ考えとんかなと思う。5日のことと、わかりゃあ説明してください、よその全体的なこともあるんで。赤磐市だけの行事じゃったらやっぱり考えれるんじゃねえかなと思うんですけど、どなんんですか。そういうことです。

○委員長（下山哲司君） はい、総合政策部長。

○総合政策部長（作間正浩君） 今おっしゃられた5日の件ですが、私どもの関係は実行委員会形式でふれあいサイクリング大会事務局というものを設けまして、市の行事として決定したものではありませんので、御理解いただきたいとは思っております。

済いません、そういうことで。

○委員長（下山哲司君） もう1件。

○総合政策部長（作間正浩君） 開催日のほうは同じ日になっちゃいましたということでございます。それから……。

○委員長（下山哲司君） 19日です。

○総合政策部長（作間正浩君） 19日ですが、これもAMD Aのほうの日程がございましたので、市のほうの日程とちょっと重なってしまったということになったと聞いております。

御了承ください、済いません。

○議会事務局長（奥田吉男君） 委員長。

○委員長（下山哲司君） はい、局長。

○議会事務局長（奥田吉男君） 議会の定例会の日程につきましては、さきの9月の議運の中で素案として御説明をいたしましたものでございます。

前を経て今回の説明、11月20日の議運の中で正式に御説明をする予定にいたしております。

以上です。

○委員（北川勝義君） はい。

○委員長（下山哲司君） はい、北川委員。

○委員（北川勝義君） じゃあから、今までそういうやり方をしとんじゃのうてやったら、前と同じじゃと。開催日はこうでこうで、そねんな説明やのうて、こうやるとかと言うてもろうて、先に今言うたように、定例議会の11月の議運のときにさせていただきますんでこの予定じゃと言うんじゃったらまだええけど、言われてから言うのはおかしいということと言ようわけじゃ。それが、わしの局長のやり方じゃというて、議長がそうやれと言よんじゃというんじゃそれもいたし方ねえけど、そりゃあちょっと違うんじゃねえかと。そりゃあ不屈き、ちょっと議会としては考え方……。

○委員長（下山哲司君） 北川委員、よろしいですか。

○委員（北川勝義君） はい。

○委員長（下山哲司君） 打ち合わせのときに、変わったとこだけ説明してくれということで、私が申しあげましたので、そういうことで御理解ください。

○委員（北川勝義君） 理解はするけど、そりゃおえんよ。先に言うんじゃったらそういうことを言うて、11月の正式な議運のときにやらせてもらうんで、日程調整するんでという一言はやっぱり言うてから言うべきじゃねん。ベテランの、大ベテランでもうやめようかと言ようぐれえの者が、おめえ、そねえなこといけまあがと思うた。よろしいです、そりゃあ。

それから、今、総合政策部長が言うた、ちょっと腹が立ったというんか、あれで。実行委員会がやるからええんじゃとか、わからんじゃとか言うたんで。僕は、そういうことを言ようらんど。それはわかったと言うたん。実行委員会のやることはわかったと言うたん。仕方がねえかもしれんと言うたん。他市町村が絡んだときには仕方がねえ、そういうて言わなんだか、言うたろう、さっき。テープ戻してみ、そう言うたど。しかしながら、5日の日は子育て講演会が中央公民館で13時30分から15時までである。そして、ふれあい消防フェスが消防本部で10時から13時までである。我々と言うたら、ほかの人は行かんでもええと言うわ。議長とか、例えば総務委員長じゃったらそけえ行かにゃあおえんという、のぞかにゃあ。ほったら、動くのはこういうことがやっぱりおかしい。これは赤磐市が決めたこっちゃねんか。よその市町村が決めたんか。かんどりゃへんじゃねえか。それから、19日はAMD Aじゃという。それは、ワインフェストも決めたのは実行委員会じゃ。しかしながら、これええ格好じゃ、実行委員会じゃ、実行委員会じゃと逃げるけど、最終的には市町村が関与してやりようるこっちゃから、市町村

がそのとき、市長も副市長もだめなんですよ、この日はと言うたら、ワインフェストでも計画すりゃへん。AMD Aにしてもじゃけど、やっぱりこらのときに、やるときに、せっかくAMD Aの赤磐市防災国際フォーラムじゃから聞きに行きてえなと思うたら行けれんということになるんで、やっぱりやるときに考えていただきてえ。前から、これはきょう、今思いついて言うたんじゃったらええんじゃけど、議運の委員長にも言うて、それは再々僕は言わせてもろうとるわな、委員長。やっぱりそうじゃのうて、責めたりそういう意味のことのとり方じゃのうて、できたらダブらんようにしてほしかったとか、時間があくとか、あいてこうでせえ、そりゃこういうことじゃないんじゃと言うた。ワインフェストでも実際実行委員会やりようる是里、決まっとる話なんじゃから、これを言うたらやっぱりちょっと。

僕は、吉井のときは、吉井の3大祭りとか4大イベントをするということで、これをワインフェスト、ワインまつりというのをしとったんじゃけど、赤磐市になってもそういう何大イベントの一つでしょ、花火、ワイン、ふるさとまつりとかというような、それをメインでやっとなんじゃから、そのときに重複してやるということは、結果的には、ワインには関心ねんじゃと、しかし国際フォーラムのAMD A、AMD Aがええとか悪いとかいう話じゃねんじゃ、内容は。関心があるからAMD Aには行くんじゃというていうことは、実際1つのことがあって、これは場所が違うけど、ほなここで運動会やりようるとき、AMD Aはこっちで、講演を同時にすると言うたら、両方行きたかった人は行けれんし、選択になるし、ほなこっち行っちゃろというんも、こっちも少のうなるから、やっぱりこういうことは市の行事で今後考えていただきたいということを言いたかった。それを別に私、今言うたら、よそのがあるからと言う、よその話はしょうりゃへん、よそも踏まえて言よんじゃ、あえて。別に文句言よんじゃねんじゃけど、そうしたほうが行きてえときも、この間のときもようけえあったんじゃ、重なるんが。行こうかと思うたら行けなんだというんが。例えばのを言やあ、この間戦没者してから長寿をしたというんじゃったら、そりゃあええんじゃ。会うのが全員じゃねえから、対象の人だけ。これ、対象じゃねえ、全員の人があるときには考えてもらわにゃあいけんじゃねえかということ言いたかった。じゃから、はっきり言うて、10月14日やこうでも、地球史研究所開設記念のオープニング・フェスタがあって、それは10時から16時までである。それから、10時から12時まで市の防災講習講演会とかあったら行けれんわけじゃ、こねえなこと言うても。時間も同じような。そこらを考えていただきてえと。これをまさかこれは全然関係ねんじゃという話じゃねえがな。日にちを合わせてほしいということ言いたかったんで。そういうことを今後、どねん思われとんか、市長からでもええ、副市長でもええし聞かせてください。そりゃあ、そんなことは関係ねんじゃと。わしの思いどおりやるんじゃと言うたらそれも結構ですけど、ちょっと教えてください。

○市長（友實武則君） はい、委員長。

○委員長（下山哲司君） はい、市長。

○市長（友實武則君） 北川委員のおっしゃるとおり、行事が重なってどちらかしか行けないという事態は、極力避けるべきと思います。私も同じように思ったこともたくさんございます。これから委員の御指摘のように調整できるものはしっかり調整させていただいて、一人でもたくさんの方に御参加いただけるよう努力させていただきたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

○委員長（下山哲司君） 北川委員、よろしいですか。

○委員（北川勝義君） よろしい。

委員長。

○委員長（下山哲司君） はい、北川委員。

○委員（北川勝義君） 次のときには、もう同じようなことをせんようにしてよ。もう四、五遍も言うとするからな。副委員長も言うた、みんな言うところう。じゃけ、ちょっと考えてほしい。

○委員長（下山哲司君） 日曜日、日曜日の行事で、日曜日は数が少ないもんですから、そういうことになるんでしょうけど、できるだけ努力するというごことをお願いいたします。

なければ、次に進んでよろしいですか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（下山哲司君） それでは、協議事項3番目、その他について。

まず、議長から報告をお願いいたします。

○議長（金谷文則君） 委員長。

○委員長（下山哲司君） 議長。

○議長（金谷文則君） それでは、この間からお話はしておるんですが、30年度の予算に向けての資料をつくりました。それについて簡単に御説明をさせていただきたいと思います。

まず、この間からお話をしている議員研修につきましては、そこの6つの委員会が年に1回は研修に日帰りで行きたいと。

それから、研修会について、外部講師を呼んで研修会を開いていきたいなというふうに考えております。これは、マックスを表示しております。4回の計画が、ひょっとしたら3回になるかもしれませんが、ぜひ4回やっていきたいということで金額を上げさせていただきました。

それから次に、2番目に、本会議のネット配信ということで、これは事務局のほうから話がありまして、今のシステムの変更が生じてくる。そのために、そこへ書いておりますような金額が必要となってくるということがありましたので、皆さんに御報告をしておきたいと思っております。

それから次に、議会の基本条例の委員長のほうからも申し出がありましたんですが、それにつきまして、委員会の中継ということがございました。それで、事務局のほうにどのくらいか



かるのか金額を出してほしいというお願いをしまして、つい先ほど出てきまして、そこにカメラを委員長側、それから執行部側に1つずつつけて、それを映すという形にすると、そこへ書いておりますように大体160万円ぐらいかかる。ランニングコストが60万円ぐらいということでした。

それからもう1つ、議場が暗いということで、何とか明るくしてほしいという議員からの御要望がたくさんありまして、それについて見積もりをとっていただきました結果、壁につけたり、いろんな照明の方法があるかもしれないけども、一番安くて明るさがとれるのが、LED化するものだというふうに話があったということで、上がってきた見積もりが240万円ということですのでございます。これにつきまして、来年度のことでございますが、皆さんのほうにお諮りをしたいというふうに考えて報告をさせていただきます。よろしく願いいたします。

○委員長（下山哲司君） ありがとうございます。

○委員（北川勝義君） ちょっと質問がある。

○委員長（下山哲司君） はい。早くしてください。

○委員（北川勝義君） はい。

○委員（原田素代君） はあ。委員長、議事を進行してください。委員会突然抜けて。話にならない。

○委員長（下山哲司君） はい、北川委員。

○委員（北川勝義君） 皆、これ全協で諮るんじゃないけど、議員の研修じゃけど。議員視察研修というんで。この赤磐というところ、ほとんど行きようらんとかじゃけえ、行くんじやったら実のあるものにせにゃあおえんのんで、日帰りでバスで行ってからと行って、行くんじやったら予算をつけて政務活動費で行きゃあええ。皆、めいめい出して行くとか、個人で負担していきゃあ。僕はそう思うんです。市のバスを利用して行くんじやったらとか、せえから日帰りで行ってくるんじやったら、そのくらいでええと思うんです。時間的にいつて何時間も、6時間も、7時間も研修できん、たかだか場所へ行ってみたら二、三時間しかできんようなことなのに、1泊でも行って、本当に重点的に、そりゃ飯を食べたりするのは、ホテルに泊まるのは自分らで出しゃあええ、そりゃあ当然の話じゃけど、行くんじやったら。

せえとか、これの考え方が6委員会じゃというて。広報委員会で基本条例、そんなこと議会も言う、こんなことはねえ、だだだだだだっ行きようちやおえん。もう研修行くんじやったら各常任委員会が1個ずつ行くんとかというぐれえなことで、それもこねえな予算つけるべき、政務活動費の絡みもあったりするんで。

これはいろいろな流れで、誰がどねん思うて決めたん、政務活動費をつけてもらうということ、政務活動費を計上するんじゃないというて、各派じゃ研修に行かりようるけど。そうあったんで、それで使うていただくということで政務活動費がついたんじゃないけど。そのことを、ほんなら政務活動費も合わせて、政務活動費はゼロ円するとか1万円削減していくとかせなんだ

ら、これは市民の良識を得られんと思う。そりゃ、日帰りで行くんじゃったら、僕は市のバスを利用して行くんじゃったら、個々今まで行きようように負担をしていきやあええんじゃねえかというぐれえなつもりで、この予算をつける必要はねえんじゃねえかと私は思っております。

それから、研修会で外部講師で4回120万円というて。ようわけはわからんのやけど、そんな120万円も使うて研修してもらわんでも、皆々政務活動費をつけて、県外、東京とか視察に行きようる。和会やこう、しょっちゅう行きようるがんな。公明党、和やこうな、しょっちゅう行きようるが。それで行ってもらやあよろしいが。そんな、この外部講師の金を入れてから使うのは、僕は最もこの時代には合わんのじゃねえかと思っております。

それから、本会議のネット配信の、これはもうそれはいろいろあるんで、仕方ねえ、これをやっていくのにというのはやっていただきやあええんじゃけど。僕はそれよりは、これがええとか悪いとかじゃなしに、それより議運で、議運とそれから議会基本条例委員会か、一緒に合同で視察をこの間しましたが。したときに、あれがええとかというんじゃねえんじゃけど、皆さんも議運の中じゃこれはええこっちゃねえかということでスマートフォンじゃけど、いろいろ使うて、タブレット使うてやりようりましたが。ノーペーパーじゃねえけど、やっぱりしていくという。そういうほうのことに金がかかるから、そっちのほうを進めていくのが大事なじゃねえかと思うて、やり方、僕らも余り得意じゃねえけど、得意な人がおったら勉強させてもらうて、そうすりゃ何ぼか職員の、事務局はなかなか忙しゅうなるというて言ようたけど、やり方がそういうことにするのも僕は大事なじゃねえかなと。

それから、委員会中継対策というて、これは僕は聞いたら、委員会の中へ、委員会をしたかあったら傍聴へ来りゃあよろしいが。委員会の中へこういうのつけて。この庁舎、はっきり言うて、これは次のことと言わせてもらおうと思うんじゃけど、もうこんなことで160万円じゃとかというん、こんなことで市民から理解を得られるもんかや。ほな、これを、今言うた委員会、たまには吉井でしてくれとか、赤坂でしてくれ、熊山でしてくれ、そりゃできません、こういう設備がないからできませんというて、こういう答えをもらうとん。僕はもう第1回の議運でそういうて言うてきた。ほかのように研修の場所を、委員会を変わってもええんじゃねえかと、各旧町へ回ってもええんじゃけど、それはできません、この設備がないから言うた。しかし、設備はなくてもどこも小めえカセット置いてでも会議はできて議事録はとれるんです。しかし、赤磐はとれないと言ってやらないんです。やらないのにここでこれつけようかいうの。もってのほかで、これも聞いてください。誰がつけてやるんじゃったら、委員会へつけるなとかというんじゃねえです。これはもうただでできるんじゃったらとか、10万円ほどじゃたらええけど、僕はちょっと。

それから、本会議の照明不足というけど、僕は照明は不足しとるかもしれんけど、書類は僕は絶えず議場の中で書きようるから。僕は暗いけどあれで十分じゃと思うとる、今。LED化

して240万円かける、大反対です。なぜ大反対というたら、もうこれが友實市長率いて、この中の庁舎の建てかえか大改修かやるというのに、200万円じゃ、300万円、400万円持ってけえ言うて。今度はまたやるわと言う。自分の金じゃったら、これからあと一年後にぐらい家を建てにゃあおえんというのに、これから台所や風呂を皆直そうかという人がおるかな。僕は考えられん。市民はほんなら、そりゃええこっちゃな、してくれというて、そりゃ本会議場が照明不足のためというて、誰が照明不足でどねんして、どれだけの照明がなかったら見えんのんな、ルクス見て。僕は古い吉井町役場の時代のことを言うたら、名前、今、あえては後で削除で、コレマツツヨシさんという課長がおって、電気代が、これはつけ方が、電気1個つけたら、ぱっところつくようになつたらあな、今、システムが悪いから、悪いから言うたら。ただ、ここしかおらんのにこっちまでつくから、電球の球を、蛍光灯の球を1個ずつ外していったんです。電気代を削減するってのはかって、何ルクスあるからというて。これも何ルクスとはかって、こんなことしとんかな。それだけ、こんだけじゃここに書きようとか、書類書きよるときは必要じゃと思うんよ。僕はそう必要じゃねえかなと思うたんよ、僕の意見はそういう意味です。皆さんで決められてやられるということはあっても、私はそういう意味で反対だということを言っとるわけで、もしやるんじゃったら、特に1番、2番については、悪いけど政務活動費を返還してやるというのを決めてでもやらなんたら無理じゃと思っております。

以上です。

○委員長（下山哲司君） 基本条例の委員会のほうでいろいろ……。

○委員（北川勝義君） 基本条例ばあで決めちゃいけないがな。

○委員長（下山哲司君） いやいや、決めとんじゃありません。

意見が出たものを議長のほうに申し入れておりますのでそういうふうにご理解をいただきたいと思っております。

他にございませんか。

○委員（原田素代君） 委員長、ここで議論するんですか。

○委員長（下山哲司君） いやいや、質問、質問。

○議長（金谷文則君） このことを、委員長、よろしい。

○委員長（下山哲司君） はい、議長。

○議長（金谷文則君） きょうは皆さん、ここで話したことで金額が出たりしたので、30年度の予算、主には執行部のほうがこれからつくっていくわけで、我々の議会として要望することが、こういう問題だったらこれだけお金がかかりますというのが出ましたので、皆さんで今度の全協で精査していただいて……。

必要なものはそういうふうにごやっただくというのは、この間からの話なので、そのようにごお願いしたいということです。

○委員（原田素代君） 委員長。

○委員長（下山哲司君） はい、原田委員。

○委員（原田素代君） 1つだけ確認をしたいんですけど、今、北川委員からいろいろ御質問がありましたけど、議会基本条例の議員の活動原則第3条もしくは第5条にあるんですけど、議会は本会議、常任委員会及び特別委員会を原則公開とし、インターネット配信に努めるとうたっています。もうこれはやらねばならないことだと。いろいろな御意見はあるでしょうけど、基本条例としてうたっている以上、もう丸3年たつのにまだやれてないという意味では、これは当然やるべきことだと私は思っているという意見をつけます。

○委員（北川勝義君） 今のは本会議のネット配信。

○委員長（下山哲司君） はい。

○委員（北川勝義君） 議会条例やん、それ。

○委員（原田素代君） 本会議じゃないです。

○委員（北川勝義君） どこ。

○委員（原田素代君） 第5条の2。

○委員（北川勝義君） じゃけ、どこなん、第5条の2。こけえ書いとんじゃな。

○委員（原田素代君） 基本条例の。

○委員（北川勝義君） 基本条例やこう入っとりゃへんが。

基本条例は出とらん。ここのどこならと言うとん。

○委員長（下山哲司君） 原田委員。

○委員（原田素代君） 本会議だけでなく、常任委員会及び特別委員会を指定してますので、これが原則公開になってます。

以上です。

○委員長（下山哲司君） ここでは、このことを議長が皆さんに御報告するというございますので、その御報告するというございます……。

○委員（北川勝義君） 基本条例の中で決まったからやる……、そりゃいけんて。

○委員長（下山哲司君） 決まってはおりません。提案でございますので、議長のほうが全協の席で、皆さんに御説明があると思いますので、そういうござ御理解をいただきます。

続きまして、政務活動について。

○委員（治徳義明君） 委員長。

○委員長（下山哲司君） 治徳委員のほうから説明をお願いします。

○委員（治徳義明君） 済いません、おはようございます。

政務活動費の手引きの見直しについて、基本条例の委員長にかわりまして御報告をさせていただきます。

既に、平成30年度分の政務活動費から適用できるように、議会基本条例特別委員会で見直しを行っていたところございます。これにつきましては御報告をさせていただいているところ

ではございますけども、このたび素案ができましたので、この後議会全員協議会で説明をさせていただきます。そして、年度末までに内容を確定させる必要があるために素案のほうを持ち帰って見ていただき、御意見があれば次回の議会全員協議会でお聞きする予定にしておりますので、よろしく願いいたします。

以上でございます。

○委員（北川勝義君） 下山さん、ちょっとええかな。

○委員長（下山哲司君） はい、北川委員。

○委員（北川勝義君） 内容はええんじやけど、何でも議会基本条例が、基本条例が、全協で報告する、そんなことは決まっとりゃへん。そんなことは、議会基本条例はそねん偉えもんでも何でもありゃあへん。そりゃ悪いこともねえし、やってもらうことは感謝しとるけど。そういうのは議会基本条例で決まるというの、そんなんで議長へ議会基本条例で出たのを議長がそれでやるというのが順番じゃ。あんたらが勝手に議会基本条例の報告やこう、全協開いてやるようになつたらへん。なつとつたら教えてくれ、いつからそういう法律になったんか。なつとらんぞ、おめえ。

○委員長（下山哲司君） 以前より引き続いて政務活動のほうはやっておりますので、その御報告をするということで、よろしく願いします。

次に、治徳委員、次の報告会について。

○委員（治徳義明君） はい、委員長、済いません。

○委員長（下山哲司君） はい、治徳委員。

○委員（治徳義明君） 議会報告会につきまして、ちょっと御報告をさせていただきます。

先般、班長会をやりまして、座長にかわりまして御報告をさせていただきます。

次第のほうが決めたいたしましたので、この後全協のほうで座長のほうから報告をしていただいて、そして班ごとに分かれて役割の分担であるとかというのを協議させていただきたいと、このように思いますので、よろしく願いいたします。

以上です。

○委員（北川勝義君） あの、よろしいか。

○委員長（下山哲司君） はい、北川委員。

○委員（北川勝義君） 僕は、議会基本条例欠席しますから。もうこういう考えで、何でも議会基本条例や議会報告会、欠席しますから。

○委員長（下山哲司君） それでは、この件につきましては、全協の席で説明をさせていただくということで、よろしく願いいたします。

それから、もう1件、何だったかな。

○委員（治徳義明君） 委員長、済いません。

○委員長（下山哲司君） はい、治徳委員。

○委員（治徳義明君） 議会……。

○委員長（下山哲司君） 広報。

○委員（治徳義明君） 議会の広報のほうからちょっと御報告があります。

委員長にかわりまして、報告をさせていただきます。

前々回のときに50号記念の議会だよりを出すということで協議検討させてほしいということで、議運のほうでも御報告をさせていただいて、委員長のほうから全協のほうでも御報告をさせていただいてたんですけども、いろいろ検討の結果、ちょっと今回環境が整っていないということで、50号ではなくて、通常レベルの議会だよりにさせていただきますことを報告させていただきます。全協のほうでは委員長のほうからその旨の御報告をさせていただきますので、どうかよろしく願いいたします。

以上です。

○委員長（下山哲司君） それでは、そういうことでお願いいたします。

ほかに委員さんからありませんか。

ありませんか。

ないですか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（下山哲司君） ないですか。

なければ、執行部のほうから。

○市長（友實武則君） はい、委員長。

○委員長（下山哲司君） はい、市長。

○市長（友實武則君） 済いません。この後の議会全員協議会の席でございますけども、10月の3常任委員会で御協議させていただいた自動運転の実証実験についてのその後の報告を、時間をおかりしてさせていただきたいと思っております。運営委員会の委員の皆様、御了承いただきますよう、よろしく願いいたします。

以上です。

○委員長（下山哲司君） 市長のほうからそういうことでございましたので、皆さんがおそろいのところで報告していただくということでよろしいですか。

○委員（原田素代君） ちょっと、委員長。

○委員長（下山哲司君） はい、原田委員。

○委員（原田素代君） 私の委員会では最低、今回のこういう専決に対しては非常に疑念があるし、認めようがないということで委員会で一致しておりますし、聞けば、よその委員会でもそういう議論はあったということなんですけど、報告は聞くのは当然でしょうけど、私としては非常に違和感があります。議会として認めていない専決が一方で粛々とやっております、こういう結果になりましたということを知るとするのは違和感があります。

○委員長（下山哲司君） 原田委員、議会運営で、その内容については、全協の席で市長の報告がありますので……。

○委員（原田素代君） ここでも当然意見ですから。

○委員長（下山哲司君） そういうことでお願いします。

はい、北川委員。

○委員（北川勝義君） さっき、感情的に走りようから、議会報告会に出ませんと言うた。僕は腹が立つとるからああやって言いましたけど、やりようことは議会報告会、議会基本条例がやってくれようから大変すばらしいことと思う。これは敬意を表しとる。それから、原田委員が言うた委員会特別、ほかの委員会も出さにやあおえんという、インターネットするというのは、そりゃあそのことはもう納得しとん。インターネットやこうは。ただ僕は、そのええことと、ここへテレビつけとか、もうめがずにこれ10年もつんじやったらええというの、とか研修に行くのは、研修は行きてん、本当のことを言うて、百聞は一見にしかずで見に行きてんじやけど、行くときやこうのは、もうちょい考えてもろうて、議会基本、そういうことがあるかというて、敬意を表すんで、あえて言わせてもらやあ、議会基本条例、議運であろうと、やり方もうちょい考えにやあおえんのじゃねん。議運の中で論議しようとか、議運のやり方を考えるということ。今、もうちょいしてもらわにや、議長、副議長、それから議運の委員長で相談してもろうて。

この間もあえて言わせてもらやあ、僕も批判を受けたから、僕は出ようらんわけ。連絡会をしようというて議長が議運としようというて言うたら、議長、副議長、それから議運は委員長、副委員長、あとは委員長、委員長、委員長となつとるから、何で副委員長が出んのんならという話からいうて言うたら、誰が決めたんならというて、いや、それはちょっと二、三分もろうたら、佐々木委員にも僕は、副議長のもそういう大事なことで、やろうというて、議長も皆さんやろうというて言うたら、福木さんが、あえて副委員長が入つとるからおえんとかという話しょんじやのうて、そういうことが出てきて、何で議運だけ副委員長が出とんならと。各委員会の副委員長は出てねえんならというんで、そしたら言われてみたらそうじゃなと。

余り僕自身は単純に考えずに、昔、山田さん、昔の議長がやりようたときに、議長、副議長は入られて、各委員長があつて、月に1遍ぐれえ何かこういうことがあるんじやという会議を、簡単な会議をしようったから、そのくれえな延長の、ちょっと今ごろはぎくしゃくしたから、連絡網はねえから、やっていただきてえなという、ある意味の、ことし新しゅうなったから提案しとつたんじやけど、そこで皆決めて、議長が決められてやられるこっちゃけええんじやけど、ほかのこの副委員長が、おい、ほんなら、おめえらだけでやりやあええんかところ、おめえらだけと言うたらあれじやけど、そういう言い方を受けたから、僕もちょっと、それじやったらちょっと行きにきいなと思うて、じゃからあるんで、ここでそのやり方も今度は議長にお願いしようることですけど、もしそういう、議長、連絡会議をするときに、議長と副

議長と議運の委員長、各委員長とかするか、議運の副も入れるんじゃ副を入れます、それからまた逆に言うたら、各委員会の副も入れるんじゃとかかすとか、切りがねえ話で、今6委員会研修の出たんと同じ。ほな、広報も議会基本条例も入れたら、皆入れちゃらにゃあおえんよようになっていて、ということもあるんで、そこらのことを考えて今後してもろうたら、僕も出やすうなるように、委員長、してほしいのをちょっと言いたかった。

○委員長（下山哲司君） ちょっと説明させてください。

○委員（北川勝義君） その説明はええから、きょう説明はええけど、今度は出やすうやっていただきてえというのを言いてんで。

○委員長（下山哲司君） それも含めて。

○委員（北川勝義君） それだけで結構ですから。説明きょう……。

○委員長（下山哲司君） 本来は議長、副議長と議運の委員長、副委員長の協議の話の場を、それには委員長は参加してもらえんでしょうかということ……。

委員長とこういうことになつとんで、そういう……。

○委員（北川勝義君） ああ、そうか。ほな違わあ。僕の言よんのと……。

○委員長（下山哲司君） それの進歩ですので……。

はい、北川委員。

○委員（北川勝義君） 僕は、昔やりようったときに議長がおって、委員長が来て、総務はこういうことがあると、厚生はこういうことがあると。じゃから一本で、皆こういうことがあるんでこれも頭に入れとってください、各委員長さんというてやりようったんが、今度は復活してやってくれるようになって、ええこっちゃなと思よったわけ。そりゃ議運でやることなら議運でやってくださいよ。もう委員長も出ていかんでよろしい、議運じゃたらもう。

○委員長（下山哲司君） いえいえ、そうじゃなしに……。

○委員（北川勝義君） じゃあから、下山さんな、議長そういうつもりでやったんじゃなからう。そういうつもりでやったんかな。佐々木さん、そういうつもりじゃなかったろう、副議長、話の中。議運だけの話じゃなかったろう、全体のことじゃたらう。今、議運を中心でいうて、議運が中心じゃたら議運でやってくださいよ。

○委員長（下山哲司君） 議運が中心じゃなくて議長が中心です。

○委員（北川勝義君） じゃろう。どうも今説明が……。

○委員長（下山哲司君） 議運も議長の諮問機関ですから、そのときに前からの話があったように、できるだけ各委員会の横のつながりが持てるようにということも含めて……。

○委員（北川勝義君） そりゃあわかっとる。

○委員長（下山哲司君） そういう会をということで、議長がやってもいいと、こういうことをお願いしてやりようることなんで、そういうふうに御理解をお願いしたい。

○委員（北川勝義君） いやいや、僕はそう言われて、言われとるから、僕はそれじゃたら



もう、ほかの人に出てもらうてください。

○委員長（下山哲司君）　そういうふうに御理解を。なるべく3委員会が横のつながりでできるようにと、こういうことで。

それから、各委員長さんの御意見も平生まとめて聞くということがめったにないんで、月に1度ぐらいはと、こういうことで始まったと思いますので……。

○委員（北川勝義君）　違う。

○委員長（下山哲司君）　御理解をお願いしたいと思います。

その他ありませんか、ほかに。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（下山哲司君）　なければ、これで終了してよろしいですか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（下山哲司君）　それでは、以上をもちまして第10回議会運営委員会を閉会いたします。

お疲れさまでした。

午前10時37分　閉会